

技研ニュース

GIKEN-NEWS No.169

財団法人 自転車産業振興協会 技術研究所



1999.5

平成11年度技術研究所の事業

競輪収益による自転車等機械工業振興資金の補助を受けて、平成11年度に技術研究所が実施する事業は下記のとおりです。

技術研究所は業界、関連団体との連携の下に、自転車および車いすの安全性を主とした技術の推進、国際標準化推進、競輪競技への技術支援等を実施し、業界等の現業部門へ着実な支援を行います。

何とぞ技術研究所の事業にご指導ご協力をお願いいたします。

事業計画の内容

1. 自転車安全乗用研究

自転車は年齢層、用途によってはその安全性が十分に確保されていない乗り物です。それらの危険を事前に避けるような自転車を開発し、安全性向上の提案を行います。また業界から研究要望の高い「実働応力波形再現システム」の高度化を図り、評価検討を行います。

2. 自転車国際標準化推進

ISO/TC149委員会から提案される自転車の規格について、強度試験を行い規格の妥当性を検証し、日本製品の強度水準に関する資料を提供します。また日本製品の試験データをISO/TC149委員会へ提供し、規格制定に参画します。

3. 自転車競技者訓練用機器開発

日本競輪学校に対し、指導訓練用機器の近代化を推進するため、機器の機能改善、指導強化促進のための技術協力をを行います。11年度はソフトウェア改修調整、トレーニングシミュレータ調査等を実施します。

4. 自転車競技用機材等開発

競輪競技における安全な運営を確保するため、検車機器等の実態調査およびその改良、開発を進めます。11年度はリム変形測定機の改良製作等を実施します。

5. 競技用自転車部品調査

競輪場内外における競技用自転車のトラブル原因の解明と対策の提案を行い、公正安全な開催に寄与するとともに、競輪部品の供給体制を補完すべく各種資料を収集します。

6. 障害者用乗り物開発

10年度に試作した傾斜路面上でシート水平機構を保ち、安全性を確保させるための介助型車いすの改良を図り、実用タイプの開発を推進します。また速度制御用ブレーキの開発を行い、より安全性を確保した新規の介助型車いすの開発を行います。

新年度計画

7. 車いす等評価機能推進

車いすを中心に福祉機器の品質性能、安全性に関する評価技術の研究推進と評価のための試験研究設備を整備します。

11年度は傾斜走行路試験装置を整備し、傾斜路面上の実走行の基礎データを蓄積します。

8. 自転車等技術情報広報

技術研究所における研究活動状況、技術等事業成果、技術水準向上に役立つ新技術等を広報周知するため、講習会等の開催、各種広報資料の作成整備等を行います。

9. 自転車等関連情報バンクの構築

技術研究所が収集する技術情報等と当協会ほか関連団体で保有する関連情報を統合整備提供し、自転車化社会支援を促進します。そのため総合情報バンクの情報基盤を推進し、その内容をインターネットで閲覧提供を図ります。

10. 経常研究・保守整備

技術研究所の試験研究に対処するため設備類を保守整備し、技術研究水準の向上ならびに受託業務に応じる体制の強化を図ります。また経常研究として突発的な課題および基盤的な課題に適時取り組みます。

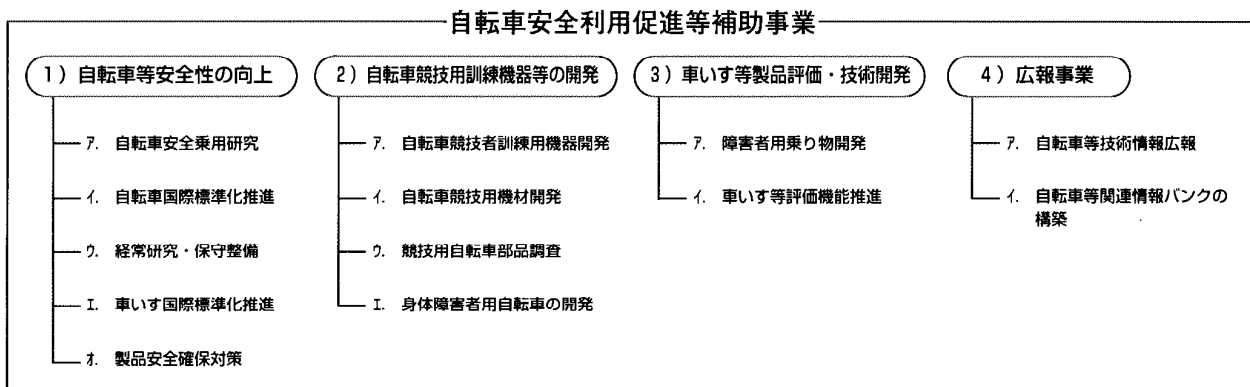


表1 当協会が実施する技術関連事業

年月	事業	外部関連
11.4		
5	技研ニュース169号発行	ウェルフェア愛知出展(5/28-30)
6	研究発表会開催・委員会開催	
7	技研ニュース170号発行	
8		
9	技研ニュース171号発行	
10	技術講習会開催	HCR出展(10/13-15)
11	オーダーメード研修会開催・技研ニュース172号発行	大阪サイクルショー出展(11/5-7)
12		
12.1	技術研修会開催・技研ニュース173号発行	
2		
3	委員会開催・技研ニュース174号発行・業務年報発行	

表2 平成11年度技術研究所年間スケジュール